

安 全 情 報

No 28 / 2017

野党支持者による抗議集会・デモに関する注意喚起

野党連合 MUD は、5月30日(火)、各国大使館を訪問すると発表していましたが、急遽、予定を変更して、カラカスにおいて抗議集会・デモを呼びかけています。

また、本日のデモは学生が主体となっていますが、4月以降、野党支持者と治安機関との衝突が相次いでいることから、激しい衝突の可能性も否定できません。つきましては、下記情報をご参照頂き、集合場所付近には、絶対に近づかないようにお願いします。

記

1 抗議集会の予定

5月30日(火)午前11時頃より、学生及び野党連合支持者は、カラカス首都圏チャカオ市アルタミラ広場に集合した後、リベルタドール市内にある内務司法省まで、デモを行う予定です。

2 注意事項

- (1) 30日(火)は、バスや地下鉄等の公共交通機関が閉鎖されるほか、フランシスコ・ファハルド高速道路、プラドス・デル・エステ高速道路、フランシスコ・デ・ミランダ通り、リベルタドール通り等の主要道路が閉鎖されると思われます。
- (2) これまで、国家警備軍(GNB)や国家警察(PNB)が、道路封鎖や催涙弾等を使用して、セントロ地区へのデモの進入を阻止する構えを見せていたことから、抗議集会後、デモ隊がセントロ地区へ進入する動きを見せた場合、プラザ・ベネズエラやフランシスコ・ファハルド高速道路のベジョ・モンテ付近において、デモ隊との衝突が予想されます。
- (3) 抗議集会後、チャカオ市内各地(カントリークラブ地区、アルタミラ広場等)にデモ隊が再集合し、これを排除しようとする治安機関との衝突の可能性があるほか、リベルタドール市1月23日地区、エル・パライソ地区、エル・バジェ地区、スクレ市ペタレ地区等で、夜間、小規模の暴動や略奪、道路でゴミを燃やす等の騒擾事案が発生するおそれがあります。
- (4) 抗議集会・デモの時間や場所の変更の可能性もありますので、外出時には、事前に、外出先や経路の状況を確認して下さい。また、治安機関は、デモを制圧する際、たびたび催涙ガスを使用しており、催涙弾が人体に直撃して死亡する事件も発生しているほか、催涙弾の中には、劇症アナフィラキシーショック死や視覚障害、脳障害を引き起こす可能性のあるガスも含まれています。そのため、催涙弾が使用される場面に遭遇してしまった場合は、風上や建物内に避難するようにして下さい。
- (5) 現下の厳しい経済状況や治安の悪化もあり、当面、夜間早朝の外出及び不要不急の外出は極力控え、できる限り、食料品・飲料水等の備蓄に努め、やむなく外出せざるを得ない場合には、テレビ・ラジオ・インターネット等で、事前に外出先や経路の状況を確認するようにお願いいたします。